



患者ID 0012345 検索

患者名 ティーアンドエス太郎

生年月日 2001.12.28 クリア

性別 M

患者情報

1 正面
2 ショーケース

3 側面
4 アデンオイト

5 シューラー

6 両側

7 ステンパス

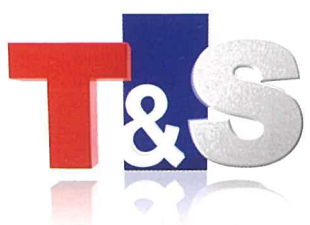
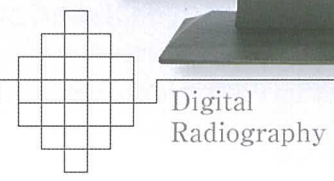
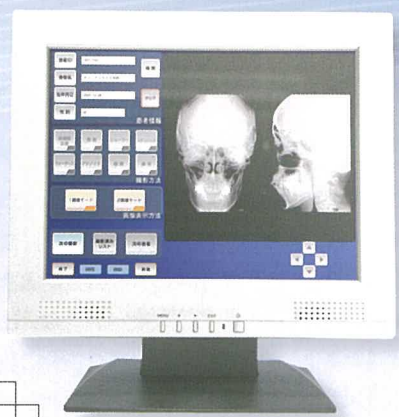
8 鼻骨

撮影方法

CCD型デジタル画像記憶装置付 耳鼻科用X線撮影装置

T-FOCUS GDR

デジタルだから美しく、速い



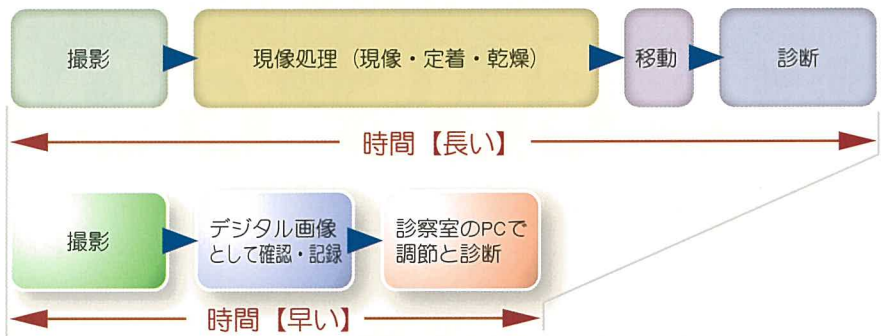
耳鼻咽喉科専用 デジタルX-Ray

デジタルX線撮影とは...

現在X線撮影は、フィルムを用いて現像処理が必要な従来型の「アナログ撮影」とフィルムを使わず即時診断が可能な画像データとして取得する「デジタル撮影」があります。従来のX線撮影は、X線を曝射しフィルムを感光させて現像・診

断するものでしたが、デジタルX線撮影はフィルムをCCDセンサーに置き換えてX線の透過情報をデジタル画像データとして取得し保存、ネットワークで共有し瞬時にコンピュータのモニターで診断可能なのです。

従来のアナログX線撮影 撮影から診断までに行程が多く、時間が掛かる。



ダイレクトデジタルX線撮影 CRよりも早く、撮影後はPCで直ぐに確認可能です。



先進のダイレクトデジタル撮影方式

T-FOCUSGDRIは、X線透過情報をそのままCCDカメラでデジタルデータ(Rawデータ)として取得する「ダイレクトデジタル撮影方式」(以下DDR)を採用したX線撮像記憶装置搭載の耳鼻科用一般X線撮影装置です。DDRの優れた点は、撮影結果が瞬時に制御用液晶タッチパネルに表示されて結果の確認が瞬時に可能となり、的確な撮影を短時間に行えることにあります。

そして、制御用コンピュータ内にDICOM規格で記録されたX線画像データはそのまま管理用PCに転送・保存されるのです。



T-FOCUS GDR

デジタルX線撮影のアドバンテージは...

デジタルX線撮影は
現像不要
従来の消耗品も不要

ネットワークでの
データ共有
診断も保存も効率化

デジタルデータは
経年変化しません
フィルム劣化による
再撮影が減少します

管理スペースの
大幅な縮小
紛失などのトラブルが
減少します

画像の拡大
コントラスト変更など
調整幅が広い
から各種診断に最適

デジタルだから情報が豊富

撮影されたX線画像データは、明るさやコントラストなど診察したい部位を強調したり、拡大・反転することも可能で得られる情報量が多いのです。1枚の画像データでも軟部組織から骨までより診断しやすい画像に調整することが出来ます。また撮影したX線画像データはネットワークで共有することで検査から診察開始までの時間短縮効果にも大変優れています。患者さんへの負担を軽減し情報量の多いデータでよりよい診断が可能となります。



T-FOCUS GDR

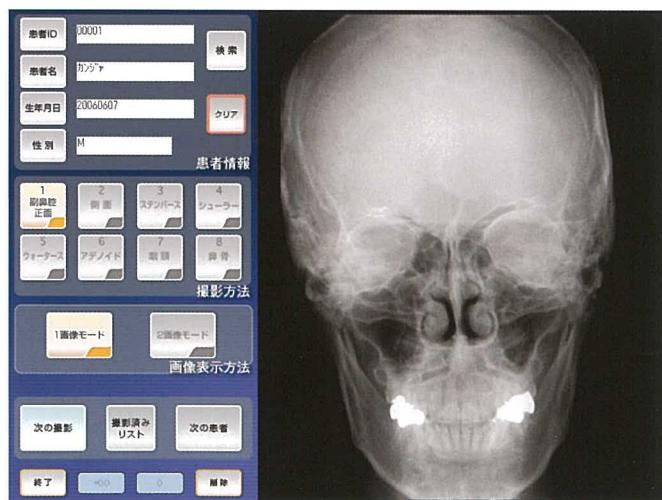
液晶タッチパネルを採用



制御用PCには多機能でありながら直感的な操作を可能にする液晶タッチパネルを採用しています。画面を押すだけの快適さと分かりやすいインターフェイスでどなたでも必要な画面へスムーズにアプローチできます。本体に付属するメイン操作パネルも至ってシンプル。kV・mAsの設定には設定しやすいダイヤルを採用し、直感的な操作が可能となっています。



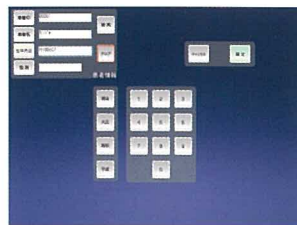
メイン操作画面
(2画面モード)



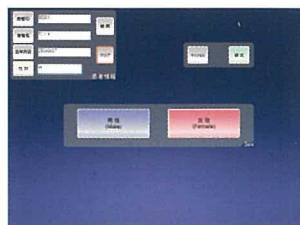
メイン操作画面 (1画面モード)

直感的で快適な各種パネル画面設計

T-FOCUS GDRでは、「ダイレクトデジタル撮影方式」を最大限に活かすために液晶タッチパネルを採用しています。撮影直後の画像表示だけでなく、各種撮影データの表示は1画面モード&2画面モードを選択できますので事前の撮影データとの連携にも大変便利です。またメイン画面から各種設定画面へのアクセスもワンボタン操作で完了し、各種設定に必要な最小限のボタン&キーボード表示で、操作や入力に迷うことを極力廃止し使いやすさにも十分に配慮されています。



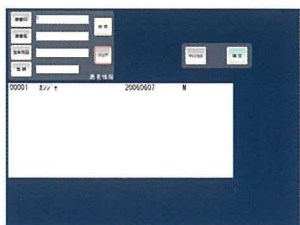
患者情報入力画面 (生年月日)



患者情報入力画面 (性別)



患者ID・患者名入力画面



患者検索画面 (リスト表示)

保存も管理もデジタルの利点



デジタルX線撮影は常に安定した画像データを保存しますので撮影フィルムの劣化による再撮影が減少します。画像データは半永久的な保存が可能ですので、フィルムのような経年劣化がありません。前回の撮影画像との比較にも検索時間を大幅に短縮し管理や呼び出しが簡単な点もデジタル画像データの利点です。また、アナログX線撮影では必要だった撮影する枚数分のフィルム、徐々に劣化する現像液や定着液の管理、定期的な交換も不要となりランニングコストの削減はもちろんのこと産業廃棄物の低減による環境の改善にも貢献します。

誰にでも扱い易い8モードAPR機能



あらかじめ設定された8つの撮影条件 (kV&mAs) を簡単に呼び出せるAPR機能を搭載しています。8つの撮影条件はプリセットとして副鼻腔正面・側面・ステンパース・シューラー・ウォータース・アデノイド・咽頭・鼻骨 を用意してありますので導入後すぐにお使いいただけます。また、撮影条件はそれぞれ変更・記憶が可能ですので各種撮影や必要な設定を保存することで幅広い撮影に対応することができます。

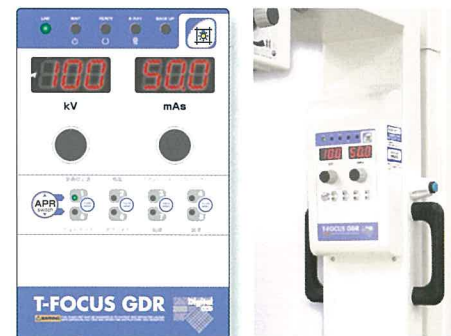
初期設定は不要、デフォルトで7部位+その他の撮影設定がインストールされています。撮影部位を選択するだけでそのまま撮影していただけます。本体の撮影設定メインパネルとの連携も至ってシンプルです。



タッチパネルの設定部分

撮影設定メインパネルには操作性に優れたダイヤル方式を採用して条件設定を直感的で素早く行なえます。

また、撮影時に必ず調整するCアームの電磁ロックボタンや撮影設定メインパネルを集中配置することで全ての操作をスマートに完了できます。



タッチパネルの設定部分

ポジショニングに優れた電磁ロック



患者さんごとにセットアップを繰り返すCアームの上下移動にはボタンを押すだけでロック/アンロックが可能な電磁ロックを採用しています。その他可動各部もしっかりとしたロック機能搭載で、各種撮影に柔軟に対応できます。

高効率・安定出力インバータ+オールインワン設計

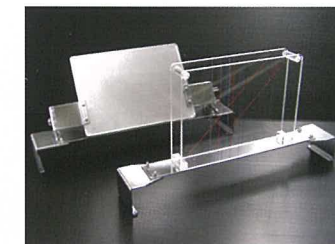


T-FOCUS GDRには特殊平滑回路によるインバータ方式を採用し、リップルが少なく常に安定したX線を得ています。これにより不要な被曝線量を低減し、更に安全な短時間撮影を可能にしています。また、すべての装置を本体に集約したコンパクトな一体化設計で、約2.5畳分のスペースで設置が可能となっています。院内のX線撮影室の省スペース化にも大きく貢献します。

電源ボックス&撮影用ハンドスイッチ



撮影補助用器具 (オプション)



撮影補助具装備例



仕様

■X線撮影装置部

発生器	インバータ制御システム
装置出力定格	2.0kW
電圧範囲	40kV~100kV
管電流	30mA(40~66kV) 20mA(68~100kV)
mAs	0.3~50mAs
X線管球	X線管焦点：1.2 (mm) 陽極：固定 陽極熱容量：20kHU
可動絞り	照射野投光式・30秒タイマー
グリッド	8：1 / 40本
電源	AC100V 50/60Hz 容量 2kVA

■受像装置部 [CCDカメラ]

CCDサイズ	2/3inch
マトリックス	1024×1360以上
ピクセルサイズ	6.45μm×6.45μm
画面サイズ	8.8×6.6mm
A/D変換	16bit
電源	DC12V：2A (30W)

■画像処理装置 [PC本体]

CPU	Pentium4 - 2.0GHZ以上
メモリ	512MB以上
ハードディスク容量	120GB以上
対応OS	Windows OS
電源容量	AC100V：300W
寸法	W190×H360×D400mm

■液晶コントロール部 [液晶タッチパネル]

モニタサイズ	12.1型TFT-LCD
最大解像度	800×600pixl以上
輝度	250 cd/inch
電源	AC100V：25W
寸法	W310×H315×D55mm

システム基本構成

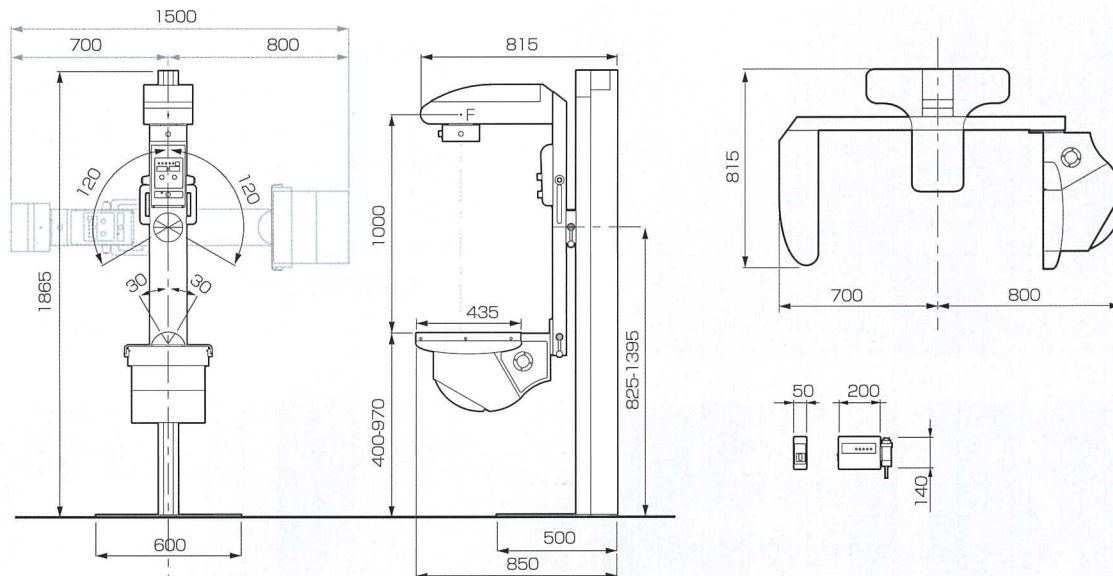
- X線発生装置
- X線制御器
- 絞り
- 電源ケーブル
- X線装置連結ケーブル
- 撮影用ハndsスイッチ
- 電源ボックス
- スタンド
- 画像処理装置 (PC)
- 液晶タッチパネル (コントローラ)

※このシステムで撮影されたデジタルデータの読影には別途「診断用ビューワ」が必要となります。

- 記載されている内容、外観及び仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。
- カタログの写真は、印刷のため実際の製品と色が異なる場合があります。

薬事承認番号：220ALBZX00065000

寸法図



(単位：mm)